



電子メールアプリケーション内で **Cisco Unity Connection** ボイスメッセージにアクセスするためのユーザガイド（リリース **14**）

初版：2020年11月24日

最終更新：2020年11月24日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスココンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>



目次

第 1 章	ViewMail for Outlook について (バージョン 8.0 のみ)	1
	ViewMail for Outlook について (バージョン 8.0 のみ)	1
	概要	1
	Outlook ヘルプの ViewMail へのアクセス	2

第 2 章	ViewMail for Outlook での Media Master の操作 (バージョン 8.0 のみ)	3
	ViewMail for Outlook での Media Master の操作 (バージョン 8.0 のみ)	3
	Media Master について (バージョン 8.0 のみ)	3
	録音でのサウンドファイルの使用 (バージョン 8.0 のみ)	4
	Media Master での録音または再生デバイスの変更 (バージョン 8.0 のみ)	4
	Media Master を使用して録音デバイスまたは再生デバイスを変更	5
	再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生音量の変更 (バージョン 8.0 のみ)	5
	再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生速度の変更 (バージョン 8.0 のみ)	6
	Media Master のキーボードショートカット (バージョン 8.0 のみ)	6

第 3 章	ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)	9
	ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)	9
	ボイス メッセージの送信 (バージョン 8.0 のみ)	9
	ボイス メッセージの送信	10
	メッセージのチェック (バージョン 8.0 のみ)	10
	メッセージの確認	11
	メッセージの返信 (バージョン 8.0 のみ)	11

メッセージへの返信	11
ボイス メッセージの転送 (バージョン 8.0 のみ)	12
ボイス メッセージの転送	12
削除されたメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)	12
削除済みメッセージを手動で消去	12

第 4 章

ViewMail for Outlook の設定の変更 (バージョン 8.0 のみ) 13

ViewMail for Outlook の設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)	13
新着のボイス メッセージを通知するサウンドの変更 (バージョン 8.0 のみ)	13
新着のボイス メッセージを通知するサウンドの変更	14
ボイス メッセージの自動再生設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)	14
ボイス メッセージの自動再生設定の変更	14
送信されたボイス メッセージの保存設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)	15
ボイス メッセージのヘッダーのみを保存	15
録音デバイスおよび再生デバイスの変更 (バージョン 8.0 のみ)	15
セキュア メッセージング設定の構成 (バージョン 8.0 のみ)	16
セキュア メッセージング設定の指定	16
IMAP アカウント設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)	17
IMAP アカウント設定の変更	17
Cisco PCA パスワードと一致するように Outlook の Viewmail でパスワードを更新する (バージョン 8.0 のみ)	17
Cisco PCA パスワードに一致させるための ViewMail for Outlook でのパスワードの更新	18

第 5 章

電子メール アプリケーションでの Cisco Unity Connection ボイス メッセージの管理 19

電子メール アプリケーションでの Cisco Unity Connection ボイス メッセージの管理	19
電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの管理について	19
電子メール アプリケーションからのボイス メッセージの送信	19
電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの確認	20
電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの削除	20
Cisco PCA パスワードと一致させるための電子メール アプリケーションのパスワードの更新	20

第 6 章

HTML ベースのメッセージ通知の管理 23

HTML ベースのメッセージ通知の管理 24

認証モードの設定 24

認証モードの設定 25

非認証モードの設定 25

HTML メッセージ通知内のイメージを表示させる Microsoft Outlook の設定 25

Microsoft Outlook のレジストリ エントリの作成 29

自動イメージダウンロードのための Microsoft Outlook の設定 29

添付ファイルとしてボイス メッセージを送信するための Unity Connection の設定 30

添付ファイルとしてボイス メッセージを送信するための Unity Connection の設定 30

HTML 通知で添付ファイルとして送信されるボイス メッセージのサイズの設定 31

添付ファイルとして送信されるボイス メッセージのサイズの設定 31

Mini Web Inbox 用の Unity Connection の設定 31

IBM Lotus Notes 用の Unity Connection Mini Web Inbox の設定 31

Unity Connection Mini Web Inbox 用の Internet Explorer 8 の設定 32

Unity Connection Mini Web Inbox 用の Windows Vista および Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット) の設定 32

HTML メッセージ通知内のイメージを表示させる Gmail の設定 33

第 7 章

メールボックスのサイズの管理 35

メールボックスのサイズの管理 35

メールボックスのサイズについて 35

メールボックスがすぐに一杯になってしまう理由 35

メッセージ保存ポリシーが適用されていない可能性がある 36

削除済みアイテムと不達確認がメールボックス全体のサイズに含まれる 36

メッセージの転送時に元のメッセージがメッセージ全体のサイズに含まれる 36

メッセージの合計サイズに添付ファイルが含まれる 36

メールボックスのサイズの管理に関するヒント 36



第 1 章

ViewMail for Outlook について（バージョン 8.0 のみ）

- [ViewMail for Outlook について（バージョン 8.0 のみ）](#)（1 ページ）

ViewMail for Outlook について（バージョン 8.0 のみ）

概要



- (注) この内容は ViewMail for Outlook のバージョン 8.0 にのみ適用されます。それ以降の ViewMail バージョンについては、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html の **Microsoft Outlook (リリース 8.5 以降) 用の Cisco ViewMail のクイックスタートガイド**を参照してください。

Cisco Unity Connection ViewMail for Microsoft Outlook を使用すると、Outlook からボイスメッセージの送信、再生、管理などを行えるようになります。ViewMail for Outlook フォームでは、Media Master のコントロールを使用してボイスメッセージの再生および録音を行います。

ViewMail for Outlook を使用すると、ボイスメッセージを他のユーザ、Unity Connection ユーザ以外の人物、およびパブリック同報リストに送信できます。Outlook のプレビュー ペインから ViewMail を使用することはできません。ViewMail for Outlook を使用するにはメッセージを開く必要があります。

ViewMail for Outlook の設定を変更すると、次のことを行えます。

- 新着のボイスメッセージを通知するサウンドを選択する。
- 送信済みのボイスメッセージを Outlook フォルダに保存する方法を設定する。
- ボイスメッセージを開くと同時に再生を開始するように自動再生機能を設定する。

Outlook ヘルプの ViewMail へのアクセス

ステップ 1 Outlook の [ヘルプ] メニューで、**ViewMail** ヘルプトピックをクリックします。

ステップ 2 左ペインのトピック リンクをクリックします。



第 2 章

ViewMail for Outlook での Media Master の操作 (バージョン 8.0 のみ)



(注) この内容は ViewMail for Outlook のバージョン 8.0 にのみ適用されます。それ以降の ViewMail バージョンに関しては、*Cisco ViewMail for Microsoft Outlook* クイック スタートガイド (リリース 8.5 以降) を

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html から参照してください。

• [ViewMail for Outlook での Media Master の操作 \(バージョン 8.0 のみ\)](#) (3 ページ)

ViewMail for Outlook での Media Master の操作 (バージョン 8.0 のみ)



(注) この内容は ViewMail for Outlook のバージョン 8.0 にのみ適用されます。それ以降の ViewMail バージョンに関しては、*Cisco ViewMail for Microsoft Outlook* クイック スタートガイド (リリース 8.5 以降) を

http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html から参照してください。

Media Master について (バージョン 8.0 のみ)

Media Master はメッセージ内に表示され、ViewMail for Outlook を使用して管理できます。メッセージの録音や再生を行うには、Media Master のコントロールをクリックします。

Media Master を使用すると、ViewMail for Outlook の操作中に使用する録音デバイスや再生デバイスを変更したり、メッセージの再生音量や再生速度を変更することもできます。

Media Master の設定に対する変更は、コンピュータごとにユーザ単位で保存されます。別のコンピュータ (たとえば自宅のコンピュータ) を使用して Media Master にアクセスする場合、その 2 台目のコンピュータでも Media Master 設定をアップデートする必要があります。

録音でのサウンドファイルの使用 (バージョン 8.0 のみ)

[オプション] メニュー (Media Master の最初のボタン (下矢印)) を使用すると、録音で別のサウンド (WAV) ファイルを使用できます。使用できるサウンドファイル オプションは次のとおりです。

新規	再録音を行うために録音を消去します。
Paste	テキスト ファイルにテキストを貼り付けるのと同じように、クリップボードからサウンドを貼り付けます。
ファイルからの貼り付け	録音に別のサウンドファイルを貼り付けます。
コピー	テキスト ファイルのテキストをコピーするのと同じように、サウンドをクリップボードにコピーします。
ファイルにコピー	名前を付けたサウンドファイルに録音をコピーします。 メッセージが暗号化されている場合、このオプションは使用できません。

Media Master での録音または再生デバイスの変更 (バージョン 8.0 のみ)

ViewMail for Outlook の操作中に使用する録音デバイスと再生デバイスは変更できます。

録音デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話: Cisco Unity Connection からユーザにコールが発信され、ユーザは電話の受話器またはスピーカフォンのマイクを使用して音声を録音します。 コンピュータのマイク (使用できる場合のみ)
再生デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 電話: Cisco Unity Connection からユーザにコールが発信され、ユーザは電話の受話器またはスピーカフォンのスピーカーを通じて音声を聞き取ります。 コンピュータのスピーカー (使用できる場合のみ)



ヒント 電話を使用すると、高音質で録音を行えます。

Media Master を使用して録音デバイスまたは再生デバイスを変更

ステップ 1 ボイス メッセージを含んでいる Outlook フォルダで、メッセージを開きます。

ステップ 2 Media Master の [オプション] メニュー (最初のボタン、下矢印) で、再生デバイスまたは録音デバイスをクリックし、使用するデバイスを一覧から選択します。

ステップ 3 デバイスとして [電話] を選択した場合は、電話情報が正しいことを確認します。

1. [オプション] メニューで、オプションをクリックします。
2. [Cisco Unity Connection サーバオプション] のダイアログボックスに、使用する Cisco Unity Connection のサーバ名を入力します。サーバ名がわからない場合は、Unity Connection の管理者に問い合わせてください。
3. [ユーザ名] ボックスに、Unity Connection のユーザ名を入力します。
4. [パスワード] ボックスで、Cisco PCA パスワードを入力します。
5. Outlook を再起動するたびにパスワードを再入力する必要がないように ViewMail for Outlook にパスワードを記憶させる場合は、[パスワードを保存する] チェックボックスをオンにします。
6. 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバアドレス] ボックスに、プロキシサーバの IP アドレスを入力します。
7. 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバポート] ボックスに、ポートサーバへの接続時に ViewMail for Outlook で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。
8. Unity Connection の管理者から指示があった場合は、[HTTPS証明書の検証] チェックボックスをオンにします。特に指示がない場合、このチェックボックスはオフのままにしておきます。
9. [内線番号] ボックスに、内線番号を入力します。
10. OK をクリックします。

ステップ 4 閉じるをクリックしてメッセージを閉じます。

再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生音量の変更 (バージョン 8.0 のみ)

このセクションでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、ViewMail for Outlook で再生するすべてのメッセージの再生音量を変更する方法について説明します。

ステップ 1 ボイス メッセージを含んでいる Outlook フォルダで、メッセージを開きます。

ステップ 2 Media Master の音量コントロールスライダをドラッグして再生音量を調節します。

ステップ 3 再生をクリックするとメッセージが再生され、コンピュータのスピーカーから再生されるメッセージの音量設定が保存されます。

ステップ 4 閉じるをクリックしてボイス メッセージを閉じます。

再生デバイスがコンピュータのスピーカーである場合のメッセージ再生速度の変更 (バージョン 8.0 のみ)

このセクションでは、Media Master でコンピュータのスピーカーを再生デバイスとして設定している場合に、ViewMail for Outlook で再生するすべてのメッセージの再生速度を変更する方法について説明します。

ステップ 1 ボイス メッセージを含んでいる Outlook フォルダで、メッセージを開きます。

ステップ 2 Media Master のスピード コントロールスライダをドラッグして再生速度を調節します。

ステップ 3 再生をクリックするとメッセージが再生され、コンピュータのスピーカーから再生されるメッセージの速度設定が保存されます。

ステップ 4 閉じるをクリックしてボイス メッセージを閉じます。

Media Master のキーボード ショートカット (バージョン 8.0 のみ)

ViewMail で Media Master を操作するときには使用できるキーボードショートカットを表 1: [ViewMail で Media Master を操作するためのショートカット](#) に示します。

表 1: ViewMail で Media Master を操作するためのショートカット

キー	アクション
Alt + Shift + P	再生/一時停止
Alt + Shift + S	停止
Alt + Shift + R	録音/一時停止
Alt + Shift + M	[オプション] メニューを開く
Alt + Shift + F3	巻き戻し
Alt + Shift + F4	早送り
Alt + Shift + F7	音量を下げる
Alt + Shift + F8	音量を上げる
Alt + Shift + F11	再生速度を下げる
Alt + Shift + F12	再生速度を上げる

キーボードを使用して**オプション**メニューのエントリを選択することもできます。選択したい**オプション**メニューのエントリに含まれる下線付きの文字を押します。



第 3 章

ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)



(注) この内容は ViewMail for Outlook のバージョン 8.0 にのみ適用されます。それ以降の ViewMail バージョンについては、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html
の **Microsoft Outlook (リリース 8.5 以降) 用の Cisco ViewMail のクイックスタートガイド**を参照してください。

- [ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 \(バージョン 8.0 のみ\) \(9 ページ\)](#)

ViewMail for Outlook でのメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)



(注) この内容は ViewMail for Outlook のバージョン 8.0 にのみ適用されます。それ以降の ViewMail バージョンについては、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html
の **Microsoft Outlook (リリース 8.5 以降) 用の Cisco ViewMail のクイックスタートガイド**を参照してください。

ボイス メッセージの送信 (バージョン 8.0 のみ)

Outlook からボイス メッセージを送信したり、メッセージに対する返信を録音したりできます。メッセージを送信したり、メッセージに返信したり、メッセージを転送できるのは他のユーザに対してだけでなく、パブリック同報リストや電子メールアドレスに対しても行えます。

組織内に複数のロケーションがある場合は、別のロケーションに存在するユーザに対してもメッセージを送信したり、返信することもできます。詳細については、管理者に問い合わせてください。



(注) Cisco Unity Connection メールボックスのサイズが割り当て分を超えると、メッセージを送信できない場合があります。(メールボックスのサイズの管理の章を参照してください。)

ボイス メッセージの送信

ステップ 1 次のいずれかを実行します。

- Outlook 受信トレイの Outlook ツールバーで、**新しいボイスメッセージアイコン**をクリックします。
- [アクション]メニューで、**新しいボイスメッセージ**をクリックします。

ステップ 2 Unity Connection のユーザ名または電子メールアドレスと、件名を入力します。

(注) 電子メールアドレス宛のメッセージは、電子メール メッセージに添付されたサウンド (WAV) ファイルとして送信されます。

ステップ 3 Media Master で、**録音** (丸) をクリックしてメッセージを録音します。

ステップ 4 録音が終了したら、**停止** (正方形) をクリックします。

ステップ 5 必要に応じて、テキストや添付ファイルを追加します。

ステップ 6 **送信** をクリックします。

メッセージのチェック (バージョン 8.0 のみ)

Outlook でボイス メッセージと受信者を確認できます。ボイス メッセージと受信者は、電子メールとは異なる Outlook フォルダに表示されます。

一度開かれた新規のメッセージは、削除されるまで保存されます。メッセージ保存ポリシーを適用するように Unity Connection が設定されているかどうかを管理者に確認し、そのように設定されている場合は、メッセージが完全に削除されるまでの期間を確認してください。Unity Connection では、メッセージ保存ポリシーが適用されているかどうかは通知されません。また、メッセージ保存ポリシーが適用された結果としてメッセージが完全に削除される際にも警告は表示されません。

[送信元] フィールドの情報は送信者を示します。この欄には Unity Connection の名前が表示され、Connection ユーザ以外の人物や Connection にログオンしていないユーザがメッセージを残した場合は「Unity Connection Messaging System」と表示されます。発信者の電話番号がわかる場合は、[件名] フィールドに番号が表示されます。

システムの設定方法に応じて、ボイスメッセージが含まれる Outlook フォルダには他の種類のメッセージ (ファクス メッセージなど) が示される場合があります。

メッセージの確認

ステップ 1 ボイス メッセージを含んでいる Outlook フォルダで、メッセージをダブルクリックして開きます。

(注) Outlook のプレビュー ペインではメッセージを確認できません。

ステップ 2 ボイス メッセージを開いた状態で、Media Master の再生 (右矢印) をクリックして、メッセージを再生します。

ステップ 3 メッセージで、メッセージツールバーのボタンを使用して、電子メールメッセージを処理するのと同じ方法でメッセージを管理します。

(注) 受信トレイ内のすべてのメッセージが開封済みメッセージである場合でも、Outlook の封筒アイコンは閉じたままになります。

メッセージの返信 (バージョン 8.0 のみ)

ここに示す手順を実行して、ボイスメッセージに返信するか、返信を録音して電子メールメッセージに返信します。返信先として指定されるのは送信者のみですが、受信者を追加することもできます。

「Unity Connection Messaging System」からのメッセージは、発信者が Connection ユーザでないか、またはメッセージを残したときにログオンしていなかったことを意味します。そのような発信者からのメッセージには返信できません。

メッセージへの返信

ステップ 1 次のいずれかを実行します。

- ボイス メッセージを開いた状態で、**返信** をクリックします。
- 電子メール メッセージを開いた状態で、[アクション] メニューの **音声で返信** をクリックします。

ステップ 2 Media Master で、**録音** (丸) をクリックします。

ステップ 3 録音を終了したら、**停止** (正方形) をクリックします。

ステップ 4 必要に応じて、テキストや添付ファイルを追加します。

ステップ 5 **送信** をクリックします。

ボイス メッセージの転送 (バージョン 8.0 のみ)

ここに示す手順を使用して、ボイス メッセージをそのまま転送するか、ボイス メッセージまたは電子メール メッセージを転送する前に再生するコメントを録音します。

ボイス メッセージの転送

ステップ 1 次のいずれかを実行します。

- 開いたボイス メッセージで、**転送**をクリックします。
- 開いた電子メール メッセージで、[アクション] メニューの**音声で転送**をクリックします。

ステップ 2 受信者の名前を入力します。

ステップ 3 Media Master で、**録音 (丸)** をクリックして音声コメントを録音します。

ステップ 4 録音が終了したら、**停止 (正方形)** をクリックします。

ステップ 5 必要に応じて、テキストや添付ファイルを追加します。

ステップ 6 **送信** をクリックします。

削除されたメッセージの管理 (バージョン 8.0 のみ)

ボイス メッセージが含まれている Outlook フォルダからメッセージを削除する手順は、電子メール メッセージを削除する手順と同じです。ただし、削除済みのボイス メッセージは灰色の打ち消し線付きのテキストで表示されます。削除したボイス メッセージは、Cisco Unity Connection によって消去されるまで、ボイス メッセージフォルダ内に残ります。

Unity Connection は、一定の経過時間に達すると、削除済みのメッセージを自動的に消去することがあります。メッセージが完全に削除されるまでの保存期間については、管理者に問い合わせてください。そうすることにより、重要なメッセージをアーカイブまたは移動するための計画を立てることができます。



ヒント ボイスメッセージが削除される前にアーカイブするには、Media Master の [オプション] メニューで [ファイルにコピー] オプションを使用します。

削除されたメッセージを手動で消去することもできます。

削除済みメッセージを手動で消去

ボイス メッセージを含んでいる Outlook フォルダで、[編集] メニューの**削除済みメッセージの削除**をクリックします。



第 4 章

ViewMail for Outlook の設定の変更（バージョン 8.0 のみ）



(注) この内容は ViewMail for Outlook のバージョン 8.0 にのみ適用されます。それ以降の ViewMail バージョンについては、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html の **Microsoft Outlook (リリース 8.5 以降) 用の Cisco ViewMail のクイックスタートガイド** を参照してください。

- [ViewMail for Outlook の設定の変更（バージョン 8.0 のみ）](#)（13 ページ）

ViewMail for Outlook の設定の変更（バージョン 8.0 のみ）



(注) この内容は ViewMail for Outlook のバージョン 8.0 にのみ適用されます。それ以降の ViewMail バージョンについては、
http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/vmo/quick_start/guide/85xcucqsgvmo.html の **Microsoft Outlook (リリース 8.5 以降) 用の Cisco ViewMail のクイックスタートガイド** を参照してください。

新着のボイス メッセージを通知するサウンドの変更（バージョン 8.0 のみ）

ボイス メッセージを含む Outlook フォルダに新しいメッセージが届いたことを通知するコンピュータ サウンドを選択できます。このオプションは、コンピュータにマルチメディアスピーカーが接続されている場合にのみ使用できます。

新着のボイス メッセージを通知するサウンドの変更

ステップ 1 Outlook の [ツール] メニューで、**ViewMail for Outlook オプション** をクリックします。

ステップ 2 [ViewMail for Outlook オプション] ダイアログ ボックスで、**通知タブ** をクリックします。

ステップ 3 通知オプションを選択します。

オプションのサウンドをプレビューするには、**スピーカ**のアイコンをクリックします。

ステップ 4 必要に応じて、オプションのデフォルトのサウンドを変更します。

a) [Browse] ボタンをクリックします。

b) [ファイルの参照] ダイアログ ボックスで、サウンド (WAV) ファイルを選択し、**開く** をクリックします。

ステップ 5 [ViewMail for Outlook オプション] ダイアログ ボックスが再表示されたら、**OK** をクリックして変更を保存します。

ボイス メッセージの自動再生設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)

自動再生を使用すると、ボイスメッセージが含まれている Outlook フォルダでボイスメッセージを開くとすぐにメッセージの再生が開始されます。自動再生機能を使用しない場合は、Media Master を使用してボイス メッセージを再生します。

ボイス メッセージの自動再生設定の変更

手順の概要

1. Outlook の [ツール] メニューで、**ViewMail for Outlook オプション** をクリックします。
2. [General] タブをクリックします。
3. **ボイス メッセージの自動再生** チェックボックスをオンまたはオフにします。
4. [OK] をクリックします。

手順の詳細

ステップ 1 Outlook の [ツール] メニューで、**ViewMail for Outlook オプション** をクリックします。

ステップ 2 [General] タブをクリックします。

ステップ 3 **ボイス メッセージの自動再生** チェックボックスをオンまたはオフにします。

ステップ 4 [OK] をクリックします。

送信されたボイスメッセージの保存設定の変更 (バージョン8.0のみ)

送信済みメッセージのコピーを [送信済みアイテム] フォルダに保存するように Outlook を設定すると、ViewMail for Outlook を使用して送信したボイスメッセージのコピーも保存されます。メッセージヘッダーのみを保存し、メッセージの録音部分を保存しないように ViewMail を設定すると、ハードディスクの領域を節約できます。(メッセージヘッダーにはメッセージの受信者、メッセージの送信日時、件名、重要度と機密度、サイズが記録されます)。

ボイスメッセージのヘッダーのみを保存

- ステップ 1 Outlook の [ツール] メニューで、**ViewMail for Outlook オプション** をクリックします。
- ステップ 2 [General] タブをクリックします。
- ステップ 3 「送信済みアイテム」フォルダ内に「メッセージヘッダのみ保存」のチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4 [OK] をクリックします。

録音デバイスおよび再生デバイスの変更 (バージョン 8.0 のみ)

録音デバイスまたは再生デバイスを変更するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 Outlook の [ツール] メニューで、**ViewMail for Outlook オプション** をクリックします。
- ステップ 2 **録音** または **再生** タブをクリックします。
- ステップ 3 [デバイス] リストで、使用するデバイスを選択します。
- ステップ 4 再生デバイスまたは録音デバイスとして電話を選択しなかった場合は、[ステップ 13](#) に進みます。
再生デバイスまたは録音デバイスとして電話を選択した場合は、**サーバ** タブをクリックします。
- ステップ 5 [Cisco Unity Connection のサーバ名] ボックスに、使用する Cisco Unity Connection のサーバ名を入力します。サーバ名がわからない場合は、Unity Connection の管理者に問い合わせてください。
- ステップ 6 [ユーザ名] ボックスに、Unity Connection のユーザ名を入力します。
- ステップ 7 [パスワード] ボックスで、Cisco PCA パスワードを入力します。
- ステップ 8 Outlook を再起動するたびにパスワードを再入力する必要がないように ViewMail for Outlook にパスワードを記憶させる場合は、[パスワードを保存する] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 9 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバアドレス] ボックスに、プロキシサーバの IP アドレスを入力します。
- ステップ 10 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバポート] ボックスに、ポートサーバへの接続時に ViewMail for Outlook で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。
- ステップ 11 Unity Connection の管理者から指示があった場合は、[HTTPS証明書の検証] チェックボックスをオンにします。特に指示がない場合、このチェックボックスはオフのままにしておきます。
- ステップ 12 [内線番号] ボックスに、内線番号を入力します。

ステップ 13 **OK** をクリックします。

セキュアメッセージング設定の構成 (バージョン 8.0 のみ)

メッセージを暗号化するように Cisco Unity Connection を設定する場合は、Unity Connection サーバとの間で安全に通信できるように Outlook を設定する必要があります。

セキュアメッセージング設定の指定

手順の概要

1. Outlook の [ツール] メニューで、**ViewMail for Outlook オプション** をクリックします。
2. **サーバタブ** をクリックします。
3. [Cisco Unity Connection のサーバ名] ボックスに、使用する Cisco Unity Connection のサーバ名を入力します。サーバ名がわからない場合は、Unity Connection の管理者に問い合わせてください。
4. [ユーザ名] ボックスに、Unity Connection のユーザ名を入力します。
5. [パスワード] ボックスで、Cisco PCA パスワードパスワードを入力します。
6. Outlook を再起動するたびにパスワードを再入力する必要がないように ViewMail for Outlook にパスワードを記憶させる場合は、[パスワードを保存する] チェックボックスをオンにします。
7. 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバアドレス] ボックスに、プロキシサーバの IP アドレスを入力します。
8. 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバポート] ボックスに、ポートサーバへの接続時に ViewMail for Outlook で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。
9. Unity Connection の管理者から指示があった場合は、[HTTPS証明書の検証] チェックボックスをオンにします。特に指示がない場合、このチェックボックスはオフのままにしておきます。
10. [OK] をクリックします。

手順の詳細

- ステップ 1 Outlook の [ツール] メニューで、**ViewMail for Outlook オプション** をクリックします。
- ステップ 2 **サーバタブ** をクリックします。
- ステップ 3 [Cisco Unity Connection のサーバ名] ボックスに、使用する Cisco Unity Connection のサーバ名を入力します。サーバ名がわからない場合は、Unity Connection の管理者に問い合わせてください。
- ステップ 4 [ユーザ名] ボックスに、Unity Connection のユーザ名を入力します。
- ステップ 5 [パスワード] ボックスで、Cisco PCA パスワードパスワードを入力します。
- ステップ 6 Outlook を再起動するたびにパスワードを再入力する必要がないように ViewMail for Outlook にパスワードを記憶させる場合は、[パスワードを保存する] チェックボックスをオンにします。

- ステップ 7** 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバアドレス] ボックスに、プロキシサーバの IP アドレスを入力します。
- ステップ 8** 組織でプロキシサーバを使用している場合は、[プロキシサーバポート] ボックスに、ポートサーバへの接続時に ViewMail for Outlook で使用する必要のあるサーバのポート番号を入力します。
- ステップ 9** Unity Connection の管理者から指示があった場合は、[HTTPS証明書の検証] チェックボックスをオンにします。特に指示がない場合、このチェックボックスはオフのままにしておきます。
- ステップ 10** [OK] をクリックします。

IMAP アカウント設定の変更 (バージョン 8.0 のみ)

Outlook で複数の IMAP アカウントが設定されている場合は、Cisco Unity Connection に関連付けられているアカウントを指定する必要があります。

IMAP アカウント設定の変更

手順の概要

1. Outlook の [ツール] メニューで、**ViewMail for Outlook オプション** をクリックします。
2. **アカウント** タブをクリックします。
3. Cisco Unity Connection へのアクセスに使用するアカウントの [選択] リストで、Unity Connection へのアクセスに使用する IMAP アカウントを選択します。
4. [OK] をクリックします。

手順の詳細

- ステップ 1** Outlook の [ツール] メニューで、**ViewMail for Outlook オプション** をクリックします。
- ステップ 2** **アカウント** タブをクリックします。
- ステップ 3** Cisco Unity Connection へのアクセスに使用するアカウントの [選択] リストで、Unity Connection へのアクセスに使用する IMAP アカウントを選択します。
- ステップ 4** [OK] をクリックします。

Cisco PCA パスワードと一致するように Outlook の Viewmail でパスワードを更新する (バージョン 8.0 のみ)

ViewMail for Outlook では、Unity Connection アカウントにアクセスしてボイスメッセージを取得する際に、Cisco Unity Connection のユーザ名と Cisco PCA のパスワードが使用されます。Messaging Assistant の Web ツールで Cisco PCA パスワードを変更した場合は、ViewMail でパス

ワードを更新する必要があります。これにより、ViewMail for Outlook が引き続き Unity Connection アカウントにアクセスできることが保証されます。

ViewMail for Outlook でボイス メッセージを送受信するときに問題が発生する場合は、次のヒントを検討してください。

- Microsoft Outlook でパスワードを入力するように求められたが、入力したパスワードが受け入れられない場合は、Cisco PCA パスワードが期限切れになっているか、変更されているか、ロックされている可能性があります。先に Messaging Assistant で Cisco PCA パスワードを変更してから、ViewMail for Outlook でパスワードを更新してください。
- ViewMail for Outlook で電話を使用してメッセージを再生または録音しようとするエラーが発生する場合は、Cisco PCA パスワードが期限切れになっているか、変更されているか、ロックされている可能性があります。先に Messaging Assistant で Cisco PCA パスワードを変更してから、ViewMail でパスワードを更新してください。
- セキュアメッセージを再生または録音しようとするエラーが発生する場合は、Cisco PCA パスワードが期限切れになっているか、変更されているか、ロックされている可能性があります。先に Messaging Assistant で Cisco PCA パスワードを変更してから、ViewMail for Outlook でパスワードを更新してください。

Cisco PCA パスワードに一致させるための ViewMail for Outlook でのパスワードの更新

ステップ 1 Outlook の [ツール] メニューで、**ViewMail for Outlook オプション** をクリックします。

ステップ 2 サーバタブをクリックします。

ステップ 3 [パスワード] ボックスに、Messaging Assistant で変更した新しい Cisco PCA パスワードを入力します。

ステップ 4 [OK] をクリックします。

ステップ 5 Outlook の [ツール] メニューで、[電子メール アカウント] をクリックします。

ステップ 6 [既存の電子メール アカウントの表示と変更] を選択し、[次へ] をクリックします。

ステップ 7 Cisco Unity Connection へのアクセスに使用する IMAP アカウントを選択し、[変更] をクリックします。

ステップ 8 [パスワード] ボックスに、Messaging Assistant で変更した新しい Cisco PCA パスワードを入力します。

ステップ 9 [次へ] をクリックし、[完了] をクリックします。



第 5 章

電子メール アプリケーションでの Cisco Unity Connection ボイス メッセージの管理

- [電子メール アプリケーションでの Cisco Unity Connection ボイス メッセージの管理 \(19 ページ\)](#)

電子メール アプリケーションでの Cisco Unity Connection ボイス メッセージの管理

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの管理について

Cisco Unity Connection を使用すると、電子メール アプリケーションでボイス メッセージと受信確認にアクセスできます。

ボイス メッセージのロケーションは電子メール アプリケーションによって異なりますが、通常ボイス メッセージは電子メール アプリケーション内の個別のフォルダに保存されます。メッセージには、録音を含む WAV 添付ファイルが格納されています。ボイス メッセージを再生するには、添付ファイルを開きます。

システムの設定方法に応じて、ボイス メッセージが含まれるフォルダには他の種類のメッセージ（ファクス メッセージなど）が示される場合があります。

電子メール アプリケーションからのボイス メッセージの送信

電子メール アプリケーションでは、ボイス メッセージを録音したり、ボイス メッセージに返信したりすることはできません。

ボイス メッセージに対する返信にはテキストのみを使用できます。ボイス メッセージを転送することはできませんが、コメントを追加する場合は、そのコメントもテキストのみになります。

システムの設定によっては、Unity Connection ユーザ以外の受信者に対する返信または転送メッセージは配信されない場合があります。そのような場合は、Non Delivery Receipt (NDR) を受信します。



(注) Cisco<:hs>Unity Connection メールボックスのサイズが割り当て分を超えると、メッセージを送信できない場合があります。(メールボックスのサイズの管理の章を参照してください。)

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの確認

通常、ボイス メッセージと開封確認は電子メール アプリケーションの個別のフォルダに表示されます。メッセージには、録音を含む WAV 添付ファイルが格納されています。ボイス メッセージを再生するには、添付ファイルを開きます。

電子メール アプリケーションで、新しい電子メール メッセージが届いたことを通知するのと同じように新しいボイス メッセージが届いたことを通知できます。

Unity Connection ユーザ以外の人物、またはあらかじめ Unity Connection にログオンしていないユーザによってメッセージが残された場合、メッセージの [送信元] フィールドには、ユーザの名前または「Unity Connection Messaging System」という文字列が含まれます。発信者の電話番号がわかる場合は、[件名] フィールドに番号が表示されます。

電子メール アプリケーションでのボイス メッセージの削除

ボイス メッセージは、電子メール メッセージと同じ方法で電子メール アプリケーションから削除できます。システムの設定方法によっては、電子メール アプリケーションで削除されたメッセージを取得してメッセージを聞いたり、削除されたメッセージをフォルダに復元したり、メッセージを完全に削除したりすることもできます。

一部の電子メール アプリケーションでは、削除されたメッセージ フォルダを定期的に消去して、ボイス メッセージを完全に削除する必要がある場合があります。電子メール アプリケーションでこのステップを実行する必要があるかどうかについては、Unity Connection の管理者に問い合せてください。

Cisco PCA パスワードと一致させるための電子メール アプリケーションのパスワードの更新

電子メール アプリケーションでは、Unity Connection アカウントにアクセスしてボイス メッセージを取得する際に、Cisco Unity Connection のユーザ名と Cisco PCA のパスワードが使用されます。Messaging Assistant の Web ツールで Cisco PCA パスワードを変更した場合は、電子メール アプリケーションでパスワードを更新する必要があります。これにより、電子メールが引き続き Unity Connection アカウントにアクセスできることが保証されます。

電子メール アプリケーションでパスワードの入力を要求されても、そのパスワードが受け入れられない場合、Cisco PCA パスワードは期限が切れているか変更されている、またはロックさ

れている可能性があります。先に Messaging Assistant で Cisco PCA パスワードを変更してから、電子メール アプリケーションでパスワードを更新してください。

特定の電子メール プログラムに関するパスワードの更新については、Unity Connection の管理者に問い合わせてください。



第 6 章

HTML ベースのメッセージ通知の管理

Cisco Unity Connection は、SMTP ベースのメッセージ通知を HTML テンプレートの形式で電子メールアドレスにメッセージ通知を送信するように設定することができます。Unify Connection のすべての SMTP ベースのテンプレートには、HTML ベースの通知テンプレートが必要です。デバイスの HTML 通知を許可するため、管理者が HTML ベースのテンプレートを選択して適用できます。選択可能なテンプレートは、デフォルトのテンプレートまたは管理者が作成したカスタムテンプレートです。

テンプレート作成の詳細については、*System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 14* を https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/administration/guide/b_14cucsag.html より参照してください。

管理者が定義したテンプレートに完全に沿った HTML 通知を受け取るには、ユーザの電子メールクライアントがイメージとアイコンの表示をサポートしている必要があります。詳細については、電子メールサービスプロバイダーのマニュアルを参照してください。

HTML 通知は次の電子メールクライアントでサポートされています。

- Microsoft Outlook 2007
- Microsoft Outlook 2010
- Microsoft Outlook 2013
- IBM Lotus Notes
- Gmail (Web ベースのアクセスのみ)

管理者は、必要に応じて認証または非認証モードを選択します。さらに、Unity Connection Mini Web Inbox を使用してボイスメッセージにアクセスするために、署名済み SSL 証明書がインストールされていることを確認してください。「Cisco Unity Connection Administration、Cisco PCA、および Unity Connection 11.x への IMAP 電子メールクライアントアクセスの保護」セクションを参照してください。

Unity Connection での SSL 設定の詳細については、*System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 14* を https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/administration/guide/b_14cucsag.html より参照してください。

- [HTML ベースのメッセージ通知の管理 \(24 ページ\)](#)

HTML ベースのメッセージ通知の管理

Cisco Unity Connection は、SMTP ベースのメッセージ通知を HTML テンプレートの形式で電子メールアドレスにメッセージ通知を送信するように設定することができます。Unify Connection のすべての SMTP ベースのテンプレートには、HTML ベースの通知テンプレートが必要です。デバイスの HTML 通知を許可するため、管理者が HTML ベースのテンプレートを選択して適用できます。選択可能なテンプレートは、デフォルトのテンプレートまたは管理者が作成したカスタム テンプレートです。

テンプレート作成の詳細については、*System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 14* を https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/administration/guide/b_14cucsag.html より参照してください。

管理者が定義したテンプレートに完全に沿った HTML 通知を受け取るには、ユーザの電子メールクライアントがイメージとアイコンの表示をサポートしている必要があります。詳細については、電子メールサービスプロバイダーのマニュアルを参照してください。

HTML 通知は次の電子メール クライアントでサポートされています。

- Microsoft Outlook 2007
- Microsoft Outlook 2010
- Microsoft Outlook 2013
- IBM Lotus Notes
- Gmail (Web ベースのアクセスのみ)

管理者は、必要に応じて認証または非認証モードを選択します。さらに、Unity Connection Mini Web Inbox を使用してボイス メッセージにアクセスするために、署名済み SSL 証明書がインストールされていることを確認してください。「Cisco Unity Connection Administration、Cisco PCA、および Unity Connection 11.x への IMAP 電子メールクライアント アクセスの保護」セクションを参照してください。

Unity Connection での SSL 設定の詳細については、*System Administration Guide for Cisco Unity Connection Release 14* を https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/administration/guide/b_14cucsag.html より参照してください。

認証モードの設定

認証モードでは、埋め込まれた画像またはアイコンが、SMTP ベースの HTML 通知で、Unity Connection の資格情報を使用して表示されます。クレデンシャルが認証された後に画像が表示されます。

設定されているモードを確認するには、システム管理者にお問い合わせください。

デフォルトでは、認証モードに設定されています。管理者は、Cisco Unity Connection Administration で認証モードの設定を行うことができます。

認証モードの設定

手順の概要

1. Cisco Unity Connection Administration で、[システム設定 (System Settings)] > [全般設定 (General Configuration)] を選択します。
2. [全般設定の編集 (Edit General Configuration)] ページで、[HTML 通知用グラフィックの認証 (Authenticate Graphics for HTML Notification)] オプションを選択し、認証モードをオンにします。
3. [保存 (Save)] をクリックします。

手順の詳細

ステップ 1 Cisco Unity Connection Administration で、[システム設定 (System Settings)] > [全般設定 (General Configuration)] を選択します。

ステップ 2 [全般設定の編集 (Edit General Configuration)] ページで、[HTML 通知用グラフィックの認証 (Authenticate Graphics for HTML Notification)] オプションを選択し、認証モードをオンにします。

ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。

- 最初のインスタンスで入力を求められたときに、ユーザが[キャンセル]ボタンをクリックし、Unity Connection のクレデンシャルを入力しなかった場合、電子メール通知にはイメージが表示されなくなります。Unity Connection のクレデンシャルを入力し、画像を表示するには、Outlook を再起動する必要があります。
- 誤ったパスワードを 3 回入力すると、Unity Connection は二度とプロンプトを表示しなくなるため、Outlook を再起動する必要があります。

非認証モードの設定

非認証モードは、ユーザにクレデンシャルの入力を求めず、独自の電子メール通知に埋め込まれたイメージやアイコンは、認証なしで表示されます。設定されているモードをシステム管理者に確認してください。

HTML メッセージ通知内のイメージを表示させる Microsoft Outlook の設定

認証モードでは、HTML ベースのテンプレートですべてのカスタム グラフィックや管理用交換可能イメージを表示するために、ご使用の Outlook クライアントに必要なホットフィックスやレジストリ エントリがすべてそろっていることを確認する必要があります。

非認証モードが設定されている場合、Outlook クライアントは、ホットフィックスやレジストリ エントリを必要としません。



注意 管理者によって選択されたモード（認証モードまたは非認証モード）に関係なくユーザのワークステーションに SSL 証明書がインストールされている必要があります。

Internet Explorer バージョン 8 を使用している場合は、「Unity Connection Mini Web Inbox 用の Internet Explorer 8 の設定」セクションの設定を参照してください。



(注) セキュリティの関係で必要なパッチのインストールやレジストリエントリの更新が許可されていない場合、イメージ、MWI ステータス、メッセージ ステータスを含まないテンプレートを作成できます。

表 2:

Microsoft Outlook のバージョン	Microsoft Outlook 2007	Microsoft Outlook 2010
Windows XP SP3、Windows 7 (32 および 64 ビット)、Windows Vista (32 ビットおよび 64 ビット)		<ul style="list-style-type: none">• Outlook 2010 修正プログラム パッケージをインストールします。詳細については、http://support.microsoft.com/kb/2459116 を参照してください。• AllowImageProxyAuth のレジストリ エントリ、value=1。

Microsoft Outlook のバージョン	Microsoft Outlook 2007	Microsoft Outlook 2010
	<ul style="list-style-type: none"> • Outlook 2007 <ul style="list-style-type: none"> • AllowImageProxyAuth のレジストリ エントリ、value=1。 • 2007 Office suite SP2 をインストールします。2007 Office suite SP2 をインストールするには、 http://support.microsoft.com/kb/953195 を参照してください。次に、Outlook 2007 修正プログラム パッケージをインストールします。ホットフィックスをインストールするには、 http://support.microsoft.com/kb/252693 を参照してください。または • 2007 Office suite SP3 をインストールします。2007 Office suite SP3 をインストールするには、 http://support.microsoft.com/kb/252686 を参照してください。 • Outlook 2007 SP2 <ul style="list-style-type: none"> • Outlook 2007 修正プログラム パッケージをインストールします。ホットフィックスをインストールするには、 http://support.microsoft.com/kb/252693 を参照してください。 • AllowImageProxyAuth のレジストリ エントリ、value=1。 	

Microsoft Outlook のバージョン	Microsoft Outlook 2007	Microsoft Outlook 2010
	<ul style="list-style-type: none"> • Outlook 2007 SP3 • AllowImageProxyAuth のレジストリ エントリ、value=1。 	

Microsoft Outlook のレジストリ エントリの作成

HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Office\12.0\Common

1. Microsoft Outlook 2010 の場合、次のパスを参照します。

HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Office\14.0\Common

1. 「AllowImageProxyAuth = 1」を新しい DWORD の値として追加します。

手順の概要

1. Windows の [スタート (Start)] > [ファイル名を指定して実行 (Run)] に移動します。「regedit」と入力し、Enter キーを押します。
2. Microsoft Outlook 2007 の場合、次のパスを参照します。

手順の詳細

ステップ 1 Windows の [スタート (Start)] > [ファイル名を指定して実行 (Run)] に移動します。「regedit」と入力し、Enter キーを押します。

ステップ 2 Microsoft Outlook 2007 の場合、次のパスを参照します。

自動イメージダウンロードのための Microsoft Outlook の設定

必要な修正プログラムおよびレジストリ エントリを使用して Microsoft Outlook を更新した後でも、テンプレートで指定されている場合は、画像を右クリックして [表示] を選択する必要があります。また、メッセージウィンドウの上に表示されるプロンプトを右クリックしてイメージを表示することもできます。

セッションのたびにこれらの手順を実行しなくとも画像が自動的にダウンロードされるようにするには、Outlook 電子メール クライアントの [ツール] > [セキュリティ センター] > [自動ダウンロード] セクションで必要なオプションを選択する必要があります。

添付ファイルとしてボイスメッセージを送信するためのUnityConnection の設定

Unity Connection 10.0(1) リリース以降、管理者は、ユーザ宛ての HTML 通知の添付ファイルとしてボイスメッセージを送信するように Connection を設定することができます。HTML 通知電子メールから Connection Mini Web Inbox にアクセスするためのリンクに加えて、ユーザは、.wav 形式のボイスメッセージ添付ファイルにアクセスし、PC またはモバイルでプレーヤーを使用して再生することができます。Unity Connection 10.0(1) バージョンよりも前では、エンドユーザは HTML 通知内の Unity Connection Mini Web Inbox にアクセスするリンクのみを受信し、必ず Mini Web Inbox を使用してボイスメッセージを聞いていました。



(注) 転送されたメッセージの場合、添付ファイルが最新のボイスメッセージに対してのみ送信されます。

ユーザが、携帯電話を使用してボイスメッセージの添付ファイルにアクセスする場合、以下のモバイルクライアントが

サポートされます。

- サポートされるバージョンの iPhone 4 および 4s
- Android のサポート対象のバージョン



(注) 保護対象でプライベートのメッセージを添付ファイルとして送信することはできません。

デフォルトでは、添付ファイルとしてボイスメッセージを送信しないように設定されています。その

管理者は、Cisco Unity Connection の管理を使用してボイスメッセージを添付ファイルとして送信するように設定できます。

添付ファイルとしてボイスメッセージを送信するための Unity Connection の設定

[保存 (Save)] をクリックします。

手順の概要

1. Cisco Unity Connection の管理で、[詳細設定] > [メッセージング] を選択します。
2. [メッセージングの設定 (Messaging Configuration)] ページで、[HTML 通知へのボイスメールの添付を許可する (Allow voice mail as attachments to HTML notifications)] オプションを選択して、添付ファイルとしてボイスメッセージを送信します。

手順の詳細

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[詳細設定]>[メッセージング] を選択します。

ステップ 2 [メッセージングの設定 (Messaging Configuration)] ページで、[HTML 通知へのボイスメールの添付を許可する (Allow voice mail as attachments to HTML notifications)] オプションを選択して、添付ファイルとしてボイス メッセージを送信します。

HTML 通知で添付ファイルとして送信されるボイス メッセージのサイズの設定

管理者は、HTML 通知で添付ファイルとして送信されるボイス メッセージのサイズを設定できます。ユーザは、.wav 形式でボイス メッセージの添付ファイルにアクセスし、PC または携帯電話の任意のプレーヤーを使用して再生できます。

デフォルトでは、最大 2048KB の添付ファイルとしてボイス メッセージを送信でき、最大 12288 KB サイズまで許可されるように設定されています。管理者は、Cisco Unity Connection Administration を使用してボイス メッセージのサイズを設定できます。

添付ファイルとして送信されるボイス メッセージのサイズの設定

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理で、[詳細設定]>[メッセージング] を選択します。

ステップ 2 [メッセージングの設定 (Messaging Configuration)] ページで、[HTML 通知に添付するボイスメールの最大サイズ(KB) (Max size of voice mail as attachment to HTML notifications (KB))] にボイス メッセージのサイズを入力します。

ステップ 3 [保存 (Save)] をクリックします。変更を有効にするために Connection Notifier サービスを再起動してください。

Mini Web Inbox 用の Unity Connection の設定

IBM Lotus Notes 用の Unity Connection Mini Web Inbox の設定

Unity Connection Mini Inbox は、IBM Lotus Notes でデフォルトでサポートされるブラウザをサポートしません。ユーザが自分の IBM Lotus Notes 電子メールクライアントでメッセージを受信し、通知内のリンクをクリックして Connection Mini Inbox を開くときには、Connection Mini Web Inbox がデフォルトのオペレーティングシステムのブラウザで開かれる必要があります。

Lotus Notes 電子メール クライアントのオペレーティング システム デフォルト ブラウザとして Web ブラウザを設定

- ステップ 1** Lotus Notes クライアントで、[ファイル (File)] > [設定 (Preferences)] > [Web ブラウザ (Web Browser)] と選択します。
- ステップ 2** [このオペレーティング システムのデフォルトとして設定しているブラウザを使用する] オプションを選択します。
- ステップ 3** [適用 (Apply)] をクリックし、[OK] をクリックします。
-

Unity Connection Mini Web Inbox 用の Internet Explorer 8 の設定

- ステップ 1** ブラウザ ウィンドウで [ツール (Tools)] > [イントラネット オプション (Intranet Options)] と移動し、[セキュリティ (Security)] タブを選択します。
- ステップ 2** [ローカル イントラネット] オプションを選択し、[サイト] をクリックします。
- ステップ 3** すべてのチェックボックスがオフにして、[Ok] をクリックします。
- ステップ 4** [信頼済みサイト (Trusted sites)] オプションを選択し、[サイト (Sites)] をクリックします。
- ステップ 5** 接続に使用する Web サイト (たとえば、<https://ucbu-cisco-vmxyz.cisco.com>) を追加します。
- ステップ 6** [閉じる (Close)] をクリックし、[OK] をクリックします。
-

Unity Connection Mini Web Inbox 用の Windows Vista および Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビット) の設定

手順の概要

1. [スタート (Start)] > [コントロール パネル (Control Panel)] > [Flash Player] と選択します。
2. Flash Player 設定マネージャーのウィンドウで、[カメラとマイク] タブを選択します。
3. [サイトごとのカメラとマイクの設定 (Camera and Microphone Settings by Site)] をクリックします。
4. [次の場合に選択したサイトでカメラまたはマイクを使用] ウィンドウで、[カメラまたはマイクをサイトで使用する場合に確認] オプションを選択します。
5. 次に、[Add] をクリックします。
6. Unity Connection に使用する Web サイト (たとえば、<https://ucbu-cisco-vmxyz.cisco.com>) を追加します。
7. [許可 (Allow)] をクリックし、[Close (閉じる)] をクリックします。

手順の詳細

- ステップ 1** [スタート (Start)] > [コントロール パネル (Control Panel)] > [Flash Player] と選択します。

- ステップ2 Flash Player設定マネージャーのウィンドウで、[カメラとマイク] タブを選択します。
- ステップ3 [サイトごとのカメラとマイクの設定 (Camera and Microphone Settings by Site)] をクリックします。
- ステップ4 [次の場合に選択したサイトでカメラまたはマイクを使用] ウィンドウで、[カメラまたはマイクをサイトで使用する場合に確認] オプションを選択します。
- ステップ5 次に、[Add] をクリックします。
- ステップ6 Unity Connection に使用する Web サイト (たとえば、<https://ucbu-cisco-vmxyz.cisco.com>) を追加します。
- ステップ7 [許可 (Allow)] をクリックし、[Close (閉じる)] をクリックします。

HTML メッセージ通知内のイメージを表示させる Gmail の設定

HTML 通知デバイスとして Gmail を設定してあり、すべてのカスタムグラフィックスまたは画像を通知電子メールに表示するには、管理者として Gmail アカウントにログインしていることを確認してください。

Gmail admin アカウントにログインした後、イメージ URL プロキシのホワイトリスト設定を構成する必要があります。同じ手順を次に示します。

- Google 管理者アカウントにログインします。
- [アプリ] > [Google アプリ] > [Gmail] > [詳細設定] に移動します。
- [詳細設定] では、[組織] に移動します。
- ドメインを選択します。
- 画像 URL プロキシホワイトリストのセクションに移動します。
- 画像 URL プロキシホワイトリストのパターンを入力します (一致する URL は画像プロキシ保護をバイパスします)。
- [保存 (Save)] をクリックします。



第 7 章

メールボックスのサイズの管理

- [メールボックスのサイズの管理 \(35 ページ\)](#)

メールボックスのサイズの管理

メールボックスのサイズについて

メールボックスが一杯になっていると、Cisco Unity Connection がメッセージを処理するスピードに影響を及ぼす場合があります。電話機を使用してログオンするときに、メールボックスが次の状態になっている場合は、Unity Connection によって通知されます。

- 間もなく一杯になる場合
- 一杯になり、新しいメッセージを送信できない場合
- 一杯になり、新しいメッセージを送受信できない場合

メールボックスの容量制限は、Unity Connection 管理者により設定されます。その制限を超過すると、メッセージを送信および受信できなくなる場合があります。



(注) システム ブロードキャスト メッセージはメールボックス全体のサイズに含まれていません。

メールボックスがすぐに一杯になってしまう理由

Cisco Unity Connection メールボックスが予想よりも速く満杯になっていると感じる場合には、次に示す理由が当てはまる場合があります。(メールボックスのサイズは Unity Connection 管理者によって指定されます)。

メッセージ保存ポリシーが適用されていない可能性がある

メッセージ保存ポリシーが適用されていない可能性がある

Unity Connection 管理者が、メッセージ保存ポリシーを適用するようにシステムを設定していない限りは、ユーザ自身が定期的に関済済メッセージを確認し、メッセージを移動、アーカイブ、または完全に削除することによって、メールボックスのサイズを管理する必要があります。

メッセージ保存ポリシーを適用するように Unity Connection が設定されている場合は、Unity Connection 管理者に、メッセージが完全に削除されるまでの期間を確認してください。これで、重要なメッセージのアーカイブや移動を前もって計画できます。Unity Connection では、メッセージ保存ポリシーが適用されているかどうかは通知されません。また、メッセージ保存ポリシーが適用された結果としてメッセージが完全に削除される際にも警告は表示されません。

削除済みアイテムと不達確認がメールボックス全体のサイズに含まれる

削除済みのメッセージは、Unity Connection によって消去されるか、手動で消去するまでは、ボイス メッセージ フォルダに残っているので、メールボックス全体のサイズに含まれます。メッセージが完全に削除されるまでの保存期間については、管理者に問い合わせてください。そうすることにより、重要なメッセージをアーカイブまたは移動するための計画を立てることができます。

また、送信したメッセージについて Non Delivery Receipt (NDR) を受信した場合、特に元のメッセージに大きい添付ファイルが含まれている場合は、メールボックスのサイズがすぐに増える可能性があります。

メッセージの転送時に元のメッセージがメッセージ全体のサイズに含まれる

何度も繰り返し転送されて、サイズが増えたメッセージを受信する場合があります。元のメッセージに、転送中に追加されたすべての録音済みコメントを加えたサイズが、メッセージの合計サイズになります。そのため、保存されているメッセージの数が比較的少ない場合でも、メールボックスが制限を超える可能性があります。

メッセージの合計サイズに添付ファイルが含まれる

スプレッドシート、ドキュメント、ファクス、画像などの添付ファイルが含まれているメッセージを受信する場合があります。この場合、メッセージにすべての添付ファイルを加えたサイズがメッセージの合計サイズになります。そのため、保存されているメッセージの数が比較的少ない場合でも、メールボックスが制限を超える可能性があります。

メールボックスのサイズの管理に関するヒント

次に示すヒントは、メールボックスの領域を確保するのに役立ちます。

- メッセージを削除する。
- ボイス メッセージ フォルダから削除済みのメッセージを手動で消去する。

- ボイスメッセージをハードディスク上のフォルダに移動した後に、それらのメッセージを電子メールアプリケーションから削除します。（この機能は、一部のシステムでは使用できません。使用可能かどうかについては、Unity Connection の管理者にお問い合わせください。



索引

- C**
- Cisco PCA **20**
 - 電子メールアプリケーションのパスワードを一致させるための更新 **20**
- か**
- 確認 **20**
 - 電子メールアプリケーションでのボイス メッセージ **20**
 - 管理 **36**
 - メールボックスのサイズ **36**
- こ**
- 更新 **20**
 - 電子メールアプリケーションのパスワードを Cisco PCA パスワードに一致させる **20**
- さ**
- 削除 **20**
 - 電子メール アプリケーションでのボイス メッセージ **20**
- て**
- 転送されたメッセージ、メールボックス サイズへの影響 **36**
 - 添付ファイル、メールボックス サイズへの影響 **36**
- は**
- パスワード、更新 **20**
 - 電子メールアプリケーションを Cisco PCA に一致させる **20**
- へ**
- 変更 **20**
 - 電子メールアプリケーションのパスワードを Cisco PCA パスワードに一致させる **20**
- ほ**
- ボイス メッセージ **20**
 - 電子メールアプリケーションでの削除 **20**
 - 電子メールアプリケーションでの確認 **20**
- め**
- メールボックス **35, 36**
 - 一杯になってしまう理由 **35**
 - サイズの管理 **36**
 - 一杯になっているメールボックス **35**
 - 理由 **35**
 - メールボックスのサイズを管理するためのヒント **36**
 - メッセージ保存ポリシー、メールボックスのサイズに対する影響 **36**

